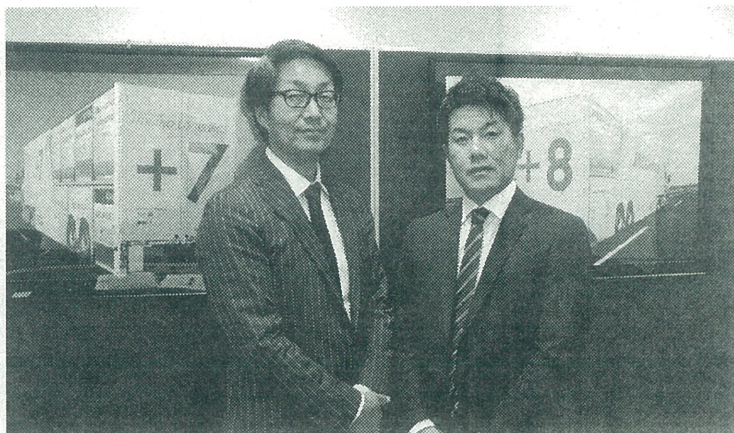


# 平野ロジスティクス関西支店

## 医薬品専用大型車を開発・運行

### オーダーメイドで需要に対応

平野ロジスティクス(本社=神戸市、田中英治社長)の関西支店は、オーダーメイドの医薬品専用大型車を開発、導入した。医薬品メーカーが多い関西地区を中心に投入。例えば、関西空港の発着便を利用する医薬品貨物の陸上輸送で、専用車を利用した高度な品質・サービスを提供している。顧客ニーズやアドバイス、数多くの輸送検証の積み重ねなどを通じて、より高水準の独自手順書も作成するとともに、社内教育を重視。医薬品輸送に習熟したスタッフによる貨物の取り扱い、AEO認証に基づく高度なセキュリティ体制など、同社のノウハウ・経験を最大限に生かして医薬品輸送サービスを提供している。



田中基康部長と西端純一所長

を中心に投入されている。昨今、医薬品輸送需要が高まっており、ソフト・ハード両面で取り組みを強化している。製薬会社との直接契約で国内の工場間の医薬品輸送も実施している。荷主のニーズをダイレクトに把握できるため、医薬品輸送のノウハウを蓄積。品質向上につなげている。オーダーメイドや航空会社、上屋会社などの物流事業者のニーズも貴重なアドバイスとして高度な品質に結び付けている。関係者と輸送検証を繰り返すことで、平野ロジスティクス独自の「GDP」(医薬品の適性流通基準)を作成、運用していることも特色だ。同社の独自GDPに基づいた医薬品輸送の教育・訓練を受講した熟練スタッフが対応する。医薬品専用の大型空調車(10ト車「Medica」)を開発、導入し、医薬品メーカーの多い関西地区を中心に運用している。医薬品輸送需要の拡大とともに、国際航空運送協会(IATA)の医薬品輸送品質認証「CEIV Pharma」取得の動きも広がっている。陸上輸送の分野でも、さらなる品質向上が不可欠な状況だ。関西空港のコミュニティもCEIVファーマ認証の取得を目指しており、平野ロジスティクスも関西空港発着便を利用した医薬品貨物の陸上輸送を手掛ける上で、顧客ニーズを把握しながら万全のサービスを提供している。この医薬品専用大型車には、関西エアポートやCKTSによる関西国際空港の医薬品共同温庫「Kixi Medica」(CKTS)のロゴを施していることも特色だ。

### 高水準の独自手順書も作成

平野ロジスティクス関西支店は、りんくう国際物流センター(大阪府泉佐野市)りんくう往来北にオフィスを構えている。事業の柱は空港間の保税輸送(OLT)であるという。関西支店の車両は大型車を中心に約30台。昨今は中型車の台数も増加している。従来の大型トラックと比べて96センチ仕様のULDを1枚多く搭載できる「+1」が関西支店には4台配備されており、空港間のOLT

にあるという。関西支店の車両は大型車を中心に約30台。昨今は中型車の台数も増加している。従来の大型トラックと比べて96センチ仕様のULDを1枚多く搭載できる「+1」が関西支店には4台配備されており、空港間のOLT

を開発、導入し、医薬品メーカーの多い関西地区を中心に運用している。医薬品輸送需要の拡大とともに、国際航空運送協会(IATA)の医薬品輸送品質認証「CEIV Pharma」取得の動きも広がっている。陸上輸送の分野でも、さらなる品質向上が不可欠な状況だ。関西空港のコミュニティもCEIVファーマ認証の取得を目指しており、平野ロジスティクスも関西空港発着便を利用した医薬品貨物の陸上輸送を手掛ける上で、顧客ニーズを把握しながら万全のサービスを提供している。この医薬品専用大型車には、関西エアポートやCKTSによる関西国際空港の医薬品共同温庫「Kixi Medica」(CKTS)のロゴを施していることも特色だ。

も取得済み。Medica号はGPSを2台搭載しているほか、セキュリティバンドの活用などを含めて、万全のセキュリティ体制を構築していることも強みだ。医薬品輸送においては中型車の需要も目立っており、関西支店には4ト空調車が4台配備されている。冷却機能および暖房機能を備えている。マイナス20度からプラス30度までの間で温度コントロールが可能だ。関西支店の田中英康・西日本地区担当営業部長兼関西支店長は「お客さまのアドバース・ニーズを把握して開発した専用車両、手順書、講習および理解度テストの実施、高度なセキュリティを通じて、医薬品輸送で万全の体制を敷いている」と説明。西端純一所長は「今後さらに要求水準が高まると予想されるため、常に品質高度化を図っていく」と方針を示す。

### 高松空港エアライン誘致協議会

## 「活性化プラン」策定へ

### 地域との連携・協力を促進

空港運営権設定・民間委託(コンセッション)の枠組みを活用して今年4月1日に高松空港の運営を開始した高松空港会社と、香川県をはじめとする関係自治体・経済界などはこのほど、「高松空港エアライン誘致協議会」を設置し、第1回協議会を開催した。4月1日に高松空港会社と香川県が「高松空港特定運営事業等」パートナーシップ協定を締結。同協定に基づいて高松空港への航空会社誘致などに関して、連携・協力する分野や実施方針を協議する。今年度は、航空路線誘致戦略や空港を起点とする交通アクセス充実などで構成される「高松空港と地域の活性化プラン」(仮称)を策定する方針だ。

### 交通アクセス充実も

同協議会は、香川県や高松市、綾川町、四国経済連合会、香川経済同友会、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県観光協会、四国ツーリズム創造機構、高松空港振興期成会、高松空港会社で構成される。協議会は年間2回開催する予定だ。協議会設立に関する第1回会合がこのほど開催され、協議会の趣旨、組織構成、活性化プラン策定に向けた骨子の説明などが行われた。2018年度中に第2回(活性化プラン案の説明・策定)、第3回(中間

## 輸入<5月> 魚、チェリー不振

本紙が集計した成田空港の上屋4社(日本航空JAL、国際空港上屋IACA、全日本空輸ANA、日本貨物航空NCA)の5月の輸入航空貨物取扱実績は前年同月比3.4%増の5万5757トと2カ月連続の増だった。内訳は、一般貨物は4.1%増の4万6314ト、生鮮貨物は0.2%増の9443ト、上屋別にみると、JALは8.1%増の2万415ト、IACAは0.9%増の1万3606ト、ANAは3.6%減の1万417ト、NCAは5.2%増の1万1319ト。

比(%)	NCA		総計	
	重量(ト)	前年比(%)	重量(ト)	前年比(%)
16.5	0.0	—	536.9	130.8
70.7	0.0	—	4.6	70.7
—	0.0	—	2.0	15384.6
12.2	0.0	—	55.3	96.3
—	0.0	—	0.1	4.1
10.3	218.3	163.8	1026.1	95.5
65.9	3.0	158.1	62.3	119.8
47.5	0.0	—	40.3	23.0
61.4	0.0	—	18.5	61.9
164.8	33.3	40.8	1343.6	115.4
124.6	0.0	—	68.3	48.2
02.4	81.8	15.3	566.9	47.7
19.9	119.7	113.2	428.7	132.7
—	0.0	—	27.5	109.4
41.6	0.4	2.7	27.7	127.7
全増	63.4	116.9	184.3	107.3
45.6	16.5	18.2	351.8	82.3
全増	0.8	157.9	1.3	13.5
63.0	10.4	135.9	254.3	63.9
20.8	0.0	—	643.2	93.0
83.5	130.1	107.7	787.1	97.6
28.3	1.4	125.6	158.0	192.5
97.6	2.7	11.9	87.8	149.3
161.4	177.3	721.2	862.4	676.1
77.0	12.1	358.7	238.0	170.3
4.3	138.3	119.9	230.2	115.1
123.1	4.7	209.3	9.3	212.3
86.9	34.7	68.3	1386.4	90.3
—	1.5	154.6	2.4	全増
61.5	0.0	—	48.2	74.9
84.1	0.0	—	27.7	95.1
151.5	0.1	314.8	10.6	107.1
—	0.0	—	1.3	451.6

成長目標は、旅客数(16年度188万人)は5年後(22年度)に260万人、15年後(32年度)に307万人に、貨物量(16年度0.6万ト)は5年後(22年度)に1万ト、15年後(32年度)に1.7万トを目指す。旅客ビル事業収益(16年度11億円)の目標は5年後(22年度)に20億円台、15年後(32年度)に40億円台という内容だ。